

マルチに活躍する都市開発者を目指して

清水建設株式会社

設計本部 プロポータル・ソリューション推進室

開発計画部 開発1G 小竹 輝彰

1. 研究室時代

建築・都市計画について6年間学び、2019年3月に工学研究科・地球総合工学科専攻・博士前期課程を修了しました。建築工学コースにて、基礎となる建築設計の他、所属研究室では木多道宏先生のご指導の下で都市計画に関する調査・研究に励み、卒業時には卒業研究のみならず卒業設計にも取り組みましたが、研究室の皆様を支えられながら乗り越えた事は、今となっては良い思い出です。大学近くの千里ニュータウンをはじめ、上海の市街地やガーナの非正規市街地など、分野やフィールドを絞らず、マルチに研究・調査する機会を頂き、私にとってかけがえのない経験となりました。



ガーナでの調査の様子

2. これまでの社会人生活

大規模都市開発やまちづくりの仕事に魅力を感じたこともあり、清水建設株式会社の開発計画・不動産開発の部門に入社し、現在入社5年目となりました。入社後数年は、半年毎に営業部門・設計部門・投資部門にて研修し、大規模都市開発に対して様々な立場からの業務を経験しました。最終的に現所属部署に配属となりましたが、設計の視点だけでなく、これまで培った様々な視点で大規模開発事業を俯瞰する力を活かして業務に取り組んでいます。

具体的な業務としては、まだ構想段階の大規模開発事業の規模やプランニングを検討・提案をしたり、事業参画のためのコンペに応募したりと、技術を極める技術者ではなく、社内の優れた技術を用い、案件に応じて様々な形で解決策を提案するプレイヤーとして業務に邁進しております。時には自ら行政やお客様に対してプレゼをし、また時には最新技術を用いたスマートシティを提案し、「限りなく文系に近い理系部門」と呼ばれることもある通り、本紙に寄稿される方の中では珍しい立場かと思えます。

3. 今後の抱負

引き続き大規模都市開発事業に関わりたいですが、既存の分野やフィールドに捉われず、チャンスがあれば何事にも積極的にチャレンジして参ります。本寄稿も何かの縁かと思えますので、これを機に工業会の方と繋がれることを期待しています。

(地球総合 2017年卒 2019年前期)